

福井県老人連



題字／吉川 喬一 書

発行
一般財団法人 福井県老人クラブ連合会
〒910-0026
福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内)
TEL.0776-24-4853 FAX.0776-24-4580
E-mail : fukuirr@yacht.ocn.ne.jp

2019 vol.154

平成31年1月

~のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを~



「福井城址お堀の灯り」に参加協力

福井市 順化地区健康クラブ連合会



福井市順化地区では、福井空襲や震災で亡くなられた方々の鎮魂の意を込めて、毎年7月にこのイベントを開催しており、老人クラブも企画運営、準備等に多くの会員が参加協力しています。

イベントでは、福井城址およびその周辺で、ろうそく等によるライトアップを行いますが、老人クラブもペットボトルを利用した「灯り」の制作に参加しています。毎週木曜日の午前中公民館で作業を行い、「木曜お堀の会」と呼称した作業メンバーが中心となって、1年かけて6800個程の「灯り」を作ります。このメンバーの半数はクラブ会員です。

「灯り」づくりは、地元の小学校児童も行いますが、その際、会員が空襲時にお堀に飛び込んで避難した体験談等を話し聞かせ、子ども達に戦争や震災の恐ろしさ、平和の大切さを伝えています。

目次

知事・会長あいさつ	2	合同リーダー研修会	8
第47回 全国老人クラブ大会	3	福井国体・ねんりんピック・老人の日	9
第45回 福井県老人クラブ大会	4	公式ワナゲ大会	10
各地の活動から	6	平成30年度・市町別友愛募金配分状況	11
会員増強運動	7	老人クラブ傷害保険のご案内	12

新年のごあいさつ 福井県知事 西川 一誠



福井県老人クラブ連合会会員の皆様

新年あけましておめでとうございます。

お健やかに新春を迎えたことを

心からお喜び申し上げます。

さて、昨年の「福井しあわせ元気国体・
障スボ」では、天皇皇后両陛下をはじめ、
多くの皇室の方々をお迎えし、福井県は天

皇杯・皇后杯を獲得して完全優勝を果た

しました。また、全国に先駆けた両大会の「融合」や来県者のおもてな

しボランティアなど、大きな成功を収めることができました。これらは、県民の皆様が丸となって成し遂げた成果です。改めて深く感謝申し上げます。
さらに、幕末明治福井百五十年博の開催や年縞博物館の開館、「いちほまれ」の本格生産・全国販売開始や「越前がに」の地理的表示保護制度(GI)登録、二回連続「幸福度日本」など、福井県を国内外に強く印象づけた年となりました。

そして、県民生活や産業の新しい基盤となる北陸新幹線や中部縦貫自動車道は、四年後の県内開業・開通に向け、大事な仕上げの段階へと整備が進んでいます。

新しい年は、これらの良い流れをさらに加速させ、県勢をより高いステージへ引き上げるステップの年にしなければなりません。

県民の暮らしの基軸である農林水産業をはじめ、先端技術や成長分野を取り入れたふるさと産業の活性化、魅力発信や海外からの誘客をさらに強化する観光振興などの新たな戦略を策定、実行します。人生百年時代に誰もが輝き、そして福井を本拠に国内外への挑戦を全うできる環境を整えるとともに、人口減少下においても県民が生き生きと健康に暮らせる社会を市町とともにつくってまいります。

老人クラブの会員の皆様におかれましては、日ごろから支え合い活動や生きがい・健康づくり活動を積極的に進めておられます。今後とも、豊富な経験と知識を活かし、地域活動の担い手として、ますます活躍されることを期待申し上げます。
年頭に当たり、福井県老人クラブ連合会のますますの発展と会員の皆様の健康長寿をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ 福井県老人クラブ連合会 会長 八十島 幸雄



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃から、本会の事業推進にご理解、

ご協力をいたしておりますことに對しまして、厚くお礼申し上げます。

私たち老人クラブは、「のはそーく健康寿命、担おうー地域づくり」をメインテーマに掲げ、「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んできました。

このよくな中、介護保険制度の見直しが行われ、市町は比較的軽度の要支援者に対し独自の新地域支援事業に取り組んでおります。

私たち老人クラブも、これまで取り組んできました「通いの場」としてのサロン活動や声かけ、安否確認、話し相手などの経験を活かし介護予防・生活支援の担い手として、行政や地域関係団体と協働して活動することが求められています。

また、高齢者が要介護状態に至る前段階として位置づけられております「フレイル」の予防には3つの柱のうち、人と人のつながり（社会参加）が重要であると言われており、老人クラブが行うサロン活動などへ積極的に参加し介護予防につなげていただきたいと思っております。

また、平成26年度から5年間「福井県老人クラブ1万人会員増強運動」を推進してきましたが、毎年会員の減少が続いております。その大きな原因の一つに後継リーダー不在によるクラブ解散が挙げられています。会員全体の6割を占める女性の中からクラブリーダーとして活躍いただくことにより、会員減少に歯止めがかかることを期待しております。

本年も、昨年開催された「福井しあわせ元気国体・元気大会」で得られたボランティアなどの経験も活かしながら、老人クラブ活動に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご支援とご協力を願い申し上げます。

年頭にあたり、会員の皆様のますますの健勝と多幸を祈念申し上げまして、新年のごあいさついたします。

本年もよろしく
お願ひします



顧問	西川 一誠	副会長	八十島 幸雄	(越前市)
副会長	板谷 悅三	事務局	早 誠 紀	(小浜市)
評議員	藤本 澄子	竹中 弘	山本 鐵夫	(敦賀市)
常務理事	斎藤 基三郎	三上 利明	今田 一榮	(坂井市)
監事	和田 高枝	相木 正勝	和田 高枝	(永平寺町)
高松	杉本 哲男	植村 光男	浅田 茂吉	(大野市)
田中	高枝 (南越前町)	山下 孝之	一榮 (坂井市)	
本原	松石篠門	堀口 忠男	和田 忠男	(若狭町)
相木	(越前町)	山本 康二	喜吉 (敦賀市)	
相木	(美浜町)	和田 和男	和田 和男	(おおい町)
植村	(高浜町)	高松 康二	高松 康二	(高浜町)
山下	(高浜町)	喜吉 (福井市)	喜吉 (福井市)	
堀口	(若狭町)	和田 忠男	和田 忠男	
山本	(高浜町)	高松 康二	高松 康二	
高松	(高浜町)	喜吉 (福井市)	喜吉 (福井市)	
田中	(高浜町)	和田 和男	和田 和男	
本原	(高浜町)	高松 康二	高松 康二	
岩本	(小浜市)	喜吉 (福井市)	喜吉 (福井市)	
豊原	(坂井市)	和田 忠男	和田 忠男	
春雄	(坂井市)	高松 康二	高松 康二	
堀山	(鯖江市)	喜吉 (福井市)	喜吉 (福井市)	
美智栄	(鯖江市)	和田 忠男	和田 忠男	
福住	(永平寺町)	高松 康二	高松 康二	
和田	(永平寺町)	喜吉 (福井市)	喜吉 (福井市)	
三田	(高浜町)	和田 忠男	和田 忠男	
重久	(福井市)	高松 康二	高松 康二	
重久	(福井市)	喜吉 (福井市)	喜吉 (福井市)	
博子	(福井市)	和田 忠男	和田 忠男	
勝利	(福井市)	高松 康二	高松 康二	

第45回 福井県老人クラブ大会開催

第45回福井県老人クラブ大会が、10月24日高浜町文化会館において、県下17市町連合会の代表約660名の参加のもと盛大に開催されました。

第1部式典は、山下孝之高浜町老連会長の歓迎のことばに始まり、八十島幸雄県老連会長が、先に開催された「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」に触れ、「皆様にもボランティア等で参加協力いただき、スポーツの素晴らしさと感動を共有することができた。この国体の経験を今後の活動に活かし、会員増強に向けて仲間の輪を広げていきましょう」と挨拶。続いて西川知事より15名の方に県老人クラブ育成功労者知事感謝状、八十島会長より育成指導功労者30名と優良クラブ8団体、永年勤続表彰者感謝状、来年度開催の福井市での再会を期して閉会となりました。

第2部では、曹洞宗金剛院住職の諫訪普現氏が「底ぬけの人をめざして」と題して講演、良寛和尚の歌等を紹介され、「何を見ても誰を見ても尊く思える心を育て、温顔を絶やすず慈愛を持ち、居るだけで場が穏やかになる。そんな“底ぬけ”的人を目指します」と話されました。その後、地元アトラクションとしてオカリナ演奏や優美なダンス、地元老連役員も加わった踊り等が披露され、最後に地域支援活動への参画や

消費者被害防止に向けた活動の実践を含む5項目の大宣言の採択、来年度開催の福井市での再会を期して閉会となりました。

大会宣言

老人クラブでは、これまで地域の一員として、健康づくりや友愛活動を通じて介護予防や支援を必要とする高齢者の見守り、日常的な生活支援に取り組んできました。

高齢者が増え続けるわが国は、要介護者の増加や高齢者の孤立、消費者被害などの課題に直面する中、介護保険制度が見直され、各市町では、独自の新地域支援事業に取り組み、高齢者の多様な介護・生活支援ニーズに応えるため、行政や地域団体などと協働して支える体制の整備が進められております。

私たち老人クラブは、これまでの活動経験をもとに、市町が行う新地域支援事業の一員として、高齢者が住み慣れた地域で安心して長く暮らし続けられるよう事業活動に取り組んでいきます。

また、「福井県老人クラブ1万人会員増強運動」は、5年計画の最終年を迎えます。

毎年会員数が減少している現状を踏まえ、会員数の維持に努めるため、これまでの声かけや体験型の勧誘に加え、自治会と連携した取り組みを積極的に行っていきます。

平成30年9月29日から本県において開催された「福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会」では、スポーツの素晴らしさと感動を共有することができました。

今後は、今回のボランティアなどの経験を老人クラブ活動の中で活かしていきます。

「美しい自然を舞台に、一人ひとりが主役になる。暮らしたい、働きたい、訪ねたいまち」ここ高浜町に集う老人クラブ代表者は、「のばそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、福井県老人クラブ「1万人会員増強運動」の推進
- 二、高齢者の暮らしを支える「新地域支援活動」への参画
- 三、健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 四、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 五、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

会員増強運動表彰

蓬萊寿会	●「100万人会員増強運動特別賞」(全国老人クラブ連合会会長表彰)
池の上いきいきクラブ (越前市)	
下庄長寿会清滝クラブ (大野市)	湯岡老人クラブ (敦賀市)
西温泉長寿会 (あわら市)	結城町高寿会 (敦賀市)
金津第8老人クラブ (越前市)	一の部第2明老会 (坂井市)
有田老人クラブ (若狭町)	上志比地区第7クラブ (永平寺町)
くすの木第2クラブ (越前町)	くすの木第1クラブ (越前町)
蓬萊寿会 (越前市)	坪江第2老人クラブ (小浜市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	宮川地区老人クラブ連合会 (敦賀市)
蓬萊寿会 (越前市)	中央町睦会 (福井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	野村秋雅 (小浜市)
蓬萊寿会 (越前市)	足羽友愛の会 (福井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	山田清隆 (敦賀市)
蓬萊寿会 (越前市)	中野卓士 (小浜市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸前健士 (福井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸内祥士 (福井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸花明治 (福井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸奥芳治 (福井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸西川征男 (福井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸内英治 (福井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸富美子 (福井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸弘(敦賀市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸竹中牧 (福井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸利夫 (小浜市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸利子 (大野市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸巧(勝山市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸修正(あわら市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸太利明(鯖江市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸昭(鯖江市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸道(越前市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸畠(越前市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸田(坂井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸木(坂井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸井(坂井市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸前(坂井市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸羽生(大野市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸中洋(大野市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸古利(大野市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸三(大野市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸前(大野市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸羽生(大野市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸西(大野市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸竹(大野市)
蓬萊寿会 (越前市)	岸内(大野市)
上志比地区第7クラブ (永平寺町)	岸英治(福井市)

平成30年度 福井県老人クラブ 育成功労者知事感謝状被贈呈者

庄 遠	木 水	今 北	中 古	前 羽	西 竹	金 堀
司 矢	津 野	田 畑	道 畑	川 生	井 中	牧 内
庫 東	政 一	一 荣	太 美	利 洋	利 利	富 英
洲 洲	庫 雄	(坂井市)	雄(越前市)	(坂井市)	(小浜市)	(福井市)
(南越前町)	(水平寺町)					

平成30年度 福井県老人クラブ連合会 会長表彰

●優良老人クラブ表彰	小 林 恵美子 (鯖江市)	野 山 前	岸 中	竹 小	花 奥	西 川 征
●永年勤続表彰	坪江第2老人クラブ (小浜市)	山 村 田	田 岸	木 岸	鐵 奥	川 征
	(敦賀市)	秋 雅	健 明	竹 内	治 芳	男 (福井市)
	(福井市)	勝 義	治 暉	野 祥	治 暉	男 (福井市)
	(小浜市)	隆 壽	治 暉	岸 祥	治 暉	男 (福井市)
	(福井市)	(小浜市)	(福井市)	(福井市)	(福井市)	(福井市)
		桑 高	神 八	東 山	帰 山	北 土
		高 尾	木 売	山 田	伊 田	川 屋
		原 立	敬 定	岸 田	藤 北	土 順
		立 愛	一 駿	岸 田	良 俊	信 信
		誠 初	郎 (あわら市)	岸 田	一 (勝山市)	惠 (大野市)
		子 初	(あわら市)	岸 田	一 (勝山市)	一 (越前市)
		(越前市)	(福井市)	(福井市)	(福井市)	
		森 中	柴 幸	池 平	酒 石	福 住
		中 下	谷 峰	野 丸	井 森	忠 純
		立 稔	崎 智	野 丸	利 傳	一 (越前市)
		誠 稔	智 静	英 智	井 傳	
		(越前市)	(若狭町)	雄 一	(坂井市)	
				郎 (越前町)	(池田町)	
				(美浜町)		
				(池田町)		

平成30年度 活動賞

●全国老人クラブ連合会会長表彰	中 番 長 寿 会 (あわら市)	国 寿 会 (越前市)
●福井県老人クラブ連合会会長表彰	和田地区老人クラブ連合会 (高浜町)	東古市地区永寿クラブ (永平寺町)
	(高浜町)	(越前市)

「フレイル」をご存知ですか?

「フレイル」とは年を取って心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態のこと、健康な状態と要介護の状態の中間を指します。フレイルは早期に発見し、生活習慣を見直すことで、その進行を抑制したり、健康な状態に戻したりすることができます。フレイルを予防するには、①栄養、②運動、③社会参加が大切です。

自分の体の健康状態は、質問票や測定などによるフレイルチェックで確認することができます。ここでは、ご自分で簡単にできる「指輪っかテスト」をご紹介します。

まずは自分の筋肉量を測ってみましょう。
針測器は使わずに自分の指を使う簡易型のチェックです。



問い合わせ先 福井県健康福祉部長寿福祉課 生きがい支援グループ
TEL 0776-20-0330

各地の活動

2018活動賞受賞団体の活動から

外国語指導助手との異文化交流

あわら市 中番長寿会



平成28年度から、小中学校の外国語指導助手との交流を行っています。アメリカ、ジャマイカ、南アフリカ出身の方々で、交流会では、母国料理や衣装などを实物やスライドで説明してもらい、文化や習慣の違いに理解を深めました。また、地元産のそば粉を使ったそば打ち、おはぎづくりや餅つき、グラウンドゴルフなどを会員が教えるながら一緒に楽しみ、8月の祭りには温泉旅館が準備してくれた浴衣を着て一緒に踊ります。

外国語指導助

手の方々からは楽

しいと好評で、会

員にとっても普段

なかなかできない

海外の人との交流

は貴重な体験で、

意欲向上にもつながっています。

また、交流会には住民の方や通訳として教員にも参加してもらつたため、クラブ活動を知つてもらうきっかけにもなっています。

福井地震を語り継ぐ記録集で後世に

永平寺町健康長寿クラブ連合会

福井震災から70年を迎えるのを機に、地震の教訓を次世代に伝えるため、被災者の体験談などを収録した「記録集」を作成しました。「記録集」には、寄せられた43名の体験談のほか、当時の惨状を写した写真や体験談を基に作った紙芝居の絵、児童の感想文なども掲載されています。

「記録集」は、町内の小中学校、公民館や図書館、各施設や病院等にも配布しています。

いろいろな方に読んでいただきことで、震災の恐ろしさ、防災や人々の絆、声かけなどの大きさを伝えたいと考えていました。

会員からは、「自分のペースで無理なくできる」「脳の活性化にもなる」と好評で、発足当初は女性のみだった会員が、男性も加入し増員しました。

町の広報誌や地域の会合等で随時加入を呼びかけ、町の会員増強にもつながるよう取り組んでいます。

「カラオケ」で健康づくりと仲間づくり

池田町老人クラブ連合会

「季節を問わずにできる健康づくりを」と、平成27年度に

「カラオケサークル」を立ち上げ、週1回楽しく活動しています。



講師を招き、毎月2曲の新曲を取り入れ、会員が新たに楽しめるよう工夫しています。

また、町外のカラオケサークルとの発表会等、地域を超えての交流にも積極的に参加しています。

会員からは、「自分のペースで無理なくできる」「脳の活性化にもなる」と好評で、発足当初は女性のみだった会員が、男性も加入し増員しました。

町の広報誌や地域の会合等で随時加入を呼びかけ、町の会員増強にもつながるよう取り組んでいます。



会員増強運動

「芝原元気クラブ「青年部」立ち上げ」

永平寺町健康長寿クラブ連合会 会長

芝原元気クラブ

会長 和田 高枝



人生100歳時代を迎える今日、健康寿命を伸ばすためにも老人クラブ活動の重要性は益々高まっています。しかしながら会員数は年々減少傾向にあります。

私たちのクラブも、亡くなれる会員がいる中で年々自然減少しており、勧誘活動に力を入れてもなかなか増えず、70代でも加入を渋る現状のなか、クラブ会員も高齢化し、クラブ消滅の危機さえ感じるようになりました。そのため、この会員減少に歯止めをかけ、クラブ運営を次の世代へ繋いでいくためには、何としても新規加入、特に「若手」の加入を促進することが課題と考えました。

そこで、平成29年末から、クラブの仲間と一緒に地区の60歳以上の若手高齢者宅を個別訪問し、老人クラブの必要性を丁寧に説明して入会を勧めました。結果、65歳から74歳までの若手の方20名が加入してくれました。しかし、加入のみで活動に参加しない状況では何の進展もないと思っていたところ、丁度地域の会合で会話がはずみ、「青年部長になつて地域の高齢者を引っ張つていつてよ」「青年部長か、やってみるか」といった会話がきっかけで、クラブ内に「青年部」を立ち上げることになりました。初代メンバーはこの新規加入者20名です。

昨年9月、「青年部発足交流会」を開催。

交流会には町長等にも出席していただき、全国、県、町の老人クラブの60年の歴史や活動の方針、内容を詳しく説明し、老人クラブについて理解を深めました。年度途中の発足でしたので、まず部長、副部長を決め、後半の諸行事に参加してもらうことから始めることにしました。来年度の新規加入者依頼は「青年部」が行うことになっています。

「何故老人クラブに加入しないのか」——クラブ内で話し合った会員の声をまとめる、「老人クラブという名称に抵抗感がある」「70代でも働いている」「親子2代加入だから」「話が合わないから」という声が多く、確かに60代や70代前半の方は「自分にはまだ早すぎる」という考えの傾向が高いようです。また、60歳と80歳では親子ほど世代差があるわけで、今までのやり方に一定の見直しが必要なもの実です。

「青年部」の活動はスタートを切つたばかりですが、今後青年部長を中心に知恵を絞っていただくとともに、世代間交流や楽しい諸活動を開催し、元気な高齢者が支援を必要としている高齢者を助ける「地域支え合い」を通じて、老人クラブの果たすべき役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。

太野市・敦賀市老人クラブ連合会 合同リーダー研修会

10月11日、結とぴあ（大野有終会館）において、大野市老連21名、敦賀市老連22名が参加して合同リーダー研修会が開催されました。

最初に山本鐵夫大野市老連会長、竹中弘敦賀市老連会長から、「地域づくりを進める上で老人クラブ活動が大変重要ですが、会員の減少に歯止めがかからない中で、越前市が会員増強のためにどのように取り組んでおられるかをお聞きし、その後の分科会で意見を出し合い、老人クラブとして今後どのように活動していくべきか考えていただきたい」とのあいさつがありました。

研修会では、まず、八十島幸雄越前市いきいきシニアクラブ連合会会长（福井県老人クラブ連合会会長）より「支え合いで地域を笑顔に（老人会の出番です）」と題して講演があり、高齢者の現状や新地域支援事業、またフレイル予防などについての説明がありました。

また、越前市いきいきシニアクラブ連合会は、自治会長はじめ地域の支援をいただきながら「サロン」を開設しており、それがきっかけとなつて単位クラブが新設され、会員増強につながっているという越前市の取り組みについても話され、参加者の皆さんには会員減少に歯止

めをかけるヒントを掴もうと熱心に聞き入っていました。

その後の3つに分かれての分科会では、「会員増強」をテーマに予定時間をオーバーするほどの活発な意見交換が行われ、
①老人会のイメージが悪いので、魅力ある行事を増やす・サロンの充実を図る
②新興住宅地域や市街地での勧誘は難しいが情熱をもつてあたる必要あり
③敦賀市老連主催の「文化展」には多数の作品の出展があり、会員には大変好評である
④大野市老連では、壮年会（60歳代の若年層）が中心となり「ふるさと講座」を企画し、会員以外の参加も認め、活発に活動している事例もある

といった様々な意見が出されました。

最後に、八十島会長から、会員増強につなげるためには、

①リーダー不足で休会に追い込まれる単位クラブもあるので、女性もリーダーを務めていただきたい
②会員を増やすためには、家庭訪問し声かけが大切である
③地域づくりは、自治会・区や老人家庭相談

員・民生委員・福祉委員などと連携し協力していくことが重要であると総評がありました。

これからも機会があれば合同での研修会を開催することを約束し、研修会は閉会となりました。





ラブの座席を挟んで、両サイドには県内の中学校二校が陣を構え、聞こえてくる生徒たちの息の合った元気いっぱいの声援に触発され、会員の皆さんも徐々に高齢者パワーを發揮。応援グッズのステイックバルーンを叩きながら、入場選手たちに熱いエールを送っていました。



私たち老人クラブの座席を挟んで、両サイドには県内の中学校二校が陣を構え、聞こえてくる生徒たちの息の合った元気いっぱいの声援に触発され、会員の皆さんも徐々に高齢者パワーを發揮。応援グッズのステイックバルーンを叩きながら、入場選手たちに熱いエールを送っていました。

9月29日から10月15日にかけて「福井しあわせ元気大会」が50年ぶりに本県で開催され、県内の老人クラブも出場選手の応援やボランティア、花いっぱい運動など、様々な場面でこの大会に参加しました。

「スタンドからエール！」

快晴となつた

10月13日、福井県営陸上競技場において「福井しあわせ元気大会」の開会式が行われ、5つの市町老連の会員275名がスタンドに集結しました。

「ねんりんピック富山2018」の福祉・生きがい関連イベントとして、「地域文化伝承館」が11月3日から5日までの3日間富山市とやま自遊館ホールに開設され、初日となつた3日、福井県を代表して勝山市高齢者連合会（斎藤甚三郎会長）が、地元芳野町の協力を得てステージで「左義長太鼓」を披露しました。勝山の左義長は320年の歴史があり、福井県の無形民俗文化財に指定されています。独特的の太鼓の打ち方で、太鼓には人が必ず腰掛けるのが特徴のひとつです。会場の皆さんには、お囃子に合わせて太鼓を打つ総勢18名のパフォーマンスに見入つていました。



福井しあわせ元気大会 開催

大会開会式・閉会式における応援参加人数

福井市・鯖江市・あわら市・越前市・坂井市・永平寺町・美浜町

7市町老連 延べ694名

ねんりんピック富山2018 地域文化伝承館開催

「勝山市高齢者連合会が「左義長太鼓」を熱演！」

老人の日・老人週間
9月15日～21日

仲間と集い、高齢者の元気な姿を示そう！

「老人の日・老人週間」の取り組みとして、「健康」「友愛」「奉仕」の全国三大運動を展開し、高齢者の積極的な行動姿勢を地域にPRしています。今年も多くのクラブで奉仕作業等が行われました。報告のあった事例を一部紹介します。



坂井市：春江さわやかクラブ連合会

町の福祉施設での窓ふき等の清掃作業とアルミ缶の回収を実施。
集まったアルミ缶は軽トラック4台分となりました。



高浜町：青郷第4クラブ

区の水田畦畔や河川法面に7万本植えられている芝桜の補植と道路の清掃作業を実施。美しい景観が訪れる人々を癒しています。

～輪で 話と 和を～

県老連会長杯 公式ワナゲ交流大会開催

県老連会長杯公式ワナゲ交流大会が、11月9日福井市の健康の森けんこうスポーツセンターにおいて開催され、17市町から選抜された289名の選手により熱戦が繰り広げられました。

競技は、午前に個人戦、午後には各市町老連選抜10名による団体戦と団体戦に出場しない選手による交流戦を行い、いずれも単独投輪方式3ゲームの合計点で順位を決定しました。

選手の皆さん、会場でのコートの距離感や雰囲気を掴もうと、会場に到着するや否や勇んで練習を開始。そして試合中は応援団が見守る中、真剣な眼差しで一投を投じていました。

11月には珍しく20度超えの陽気となったこの日、選手たちの気合いと相まって会場は熱気に包まれていました。また、選手の一投一投に会場のあちらこちらで拍手と歓声が沸き、緊張感漂う中にも和気藹々としたムードで大会はおおいに盛り上がりました。

結果は次のとおりです。団体戦の優勝は昨年に引き続き福井市が、個人戦では福井市の斎藤達雄さんが二年連続準優勝を果たしました。なお、今回のパーフェクト達成者は12名。最高齢プレーヤーは勝山市の男性94歳でした。



団体戦

👑 優勝 福井市
準優勝 大野市
第3位 あわら市

個人戦

👑 優勝 河端千代治(あわら市) 780点
準優勝 斎藤達雄(福井市) 660点
第3位 栗山巧(あわら市) 630点

交流戦(1位)

60~69歳 男子 1位	岩倉 善治(大野市)	女子 1位 野村 淳子(小浜市)
70~74歳 男子 1位	寺杣 睦平(敦賀市)	女子 1位 獅子原ゆり子(越前町)
75~79歳 男子 1位	山本 岩男(勝山市)	女子 1位 井上 純子(越前町)
80~84歳 男子 1位	前田 義明(永平寺町)	女子 1位 竹内 富子(勝山市)
85歳以上 男子 1位	高尾 茂市(勝山市)	女子 1位 長谷川千里(勝山市)



「輪投げ」と「ワナゲ」



日本ワナゲ協会では、競技名を「輪投げ」ではなく「ワナゲ」と表しています。「ワナゲ」はスポーツ競技として、明確なルールのもとに行われるもので、縁日などの遊びの「輪投げ」と区別するためにカタカナ表記となっています。

また、小さな子どもにも、外国の方でも読めるようにするために、広く多くの方にワナゲ競技が開かれるようという願いが込められています。公式ワナゲは…

◆「考えて投げる」体も頭も使うスポーツです！

◆年齢に関係なく、冬場もできるスポーツです！

友愛募金にご協力ありがとうございました

昭和48年から始められた友愛募金運動も昨今の厳しい経済状況の中でありながら、会員皆様の温かい心と、会長様他関係の皆様のご理解、ご協力をいただき、平成30年度も9,345,456円と多くの净財が寄せられました。

厚くお礼申し上げます。

お寄せいただきましたこの募金は、委員会にお諮りし、596名の在宅療養している老友および、その介護にあたるご家族へのお見舞い品や火災などの災害見舞金のほか、クラブ活動に必要な助成費や地元市町老連が行う友愛活動事業費にあてさせていただいております。

なお、閉じこもり防止や仲間づくりを目的とした老連独自のサロン活動の充実に、今年度も10%の還元を地元市町老連に実施しましたので、積極的な取り組みをよろしくお願ひ致します。

在宅療養高齢者・介護者の
御見舞品

オーガニックタオル
セット

御見舞品を受け取られたご家族からは、皆様の活動が心の支えになっていると御礼の電話や手紙が届いています。

平成30年度 市町別友愛募金配分状況

市町名		会員数(人)	総額 100% (円)	県老連納入額 40% (円)	市町活動費(還元金) 50% (円)	ふれあい活動資金(還元金) 10% (円)
1 福井市	8,381	1,004,580	401,832	502,290	100,458	
2 敦賀市	4,559	721,560	288,624	360,780	72,156	
3 小浜市	2,831	462,536	185,015	231,268	46,253	
4 大野市	3,226	598,430	239,372	299,215	59,843	
5 勝山市	1,592	315,322	126,129	157,661	31,532	
6 鯖江市	3,429	637,490	254,996	318,745	63,749	
7 あわら市	3,170	504,478	201,791	252,239	50,448	
8 越前市	6,949	1,252,553	501,021	626,277	125,255	
9 坂井市	4,374	847,750	339,100	423,875	84,775	
10 永平寺町	1,835	383,450	153,380	191,725	38,345	
11 池田町	482	106,245	42,498	53,123	10,624	
12 南越前町	1,733	337,383	134,954	168,691	33,738	
13 越前町	3,472	643,295	257,318	321,648	64,329	
14 美浜町	1,721	309,000	123,600	154,500	30,900	
15 高浜町	2,386	421,744	168,698	210,872	42,174	
16 おおい町	1,300	243,600	97,440	121,800	24,360	
17 若狭町	2,920	556,040	222,416	278,020	55,604	
計	54,360	9,345,456	3,738,184	4,672,729	934,543	

「活動教材」のご紹介

『老人クラブがめざす友愛活動』 (発行元:全国老人クラブ連合会)

高齢者の暮らしを支える取り組みがすすむ中、これまでの活動を活かして「友愛活動」に参加するための入門書です。 【1冊 220円(税込・送料別)】

- ①多様な生活支援
 - ②多様な通いの場づくり
 - ③見守り支援
 - ④健康づくり支援
 - ⑤情報伝達支援
- の5つの活動に整理して掲載されています。

※お問い合わせは、県老連事務局(0776-24-4853)または最寄りの市町老連事務局まで

注意「保険金を使って住宅の修理ができる」という勧誘にご注意!

大雪や大雨、台風などの自然災害の後、「火災保険を使って自己負担なく住宅の修理ができます」と電話や突然の訪問で修繕工事を勧めてくる業者に注意してください。

【相談事例】

リフォーム業者から電話で「去年の大雪で家屋に被害はありませんでしたか?火災保険を使えば自己負担なく修理ができますよ。」と言われ、点検だけなら無料ということだったので業者の訪問を承諾した。業者からは、「雨どいが壊れている。火災保険の審査は通るようにするので修理した方がよい。」と勧められ、説明を十分に受けずに修理を依頼した。

後日、業者から送られてきた見積りの金額が高く、保険も本当に適用されるか不安だ。



他にもこんな事例が…

- ・解約しようとすると違約金を請求された
- ・見積もりと違う工事をしたり、ずさんな工事をした
- ・保険会社にうその理由で保険金を請求していた(経年劣化を自然災害と偽る)
- ・保険金請求手続きの手数料を請求された

- 火災保険は、申請すれば必ず支払われるとは限りません。「保険金を使って自己負担なく住宅の修理ができる」と業者から勧説を受けても、その場で契約することはやめましょう。
- 加入している保険契約や損害の内容について確認し、契約している保険会社や代理店に相談しましょう。
- 複数の業者から見積もりを取り、工事内容や金額などを比較検討しましょう。
- 契約時は、必ず契約書をもらい、契約内容を確認しましょう。

「おかしいな?」「困ったな!」
と思ったら

○福井県消費生活センター ☎(0776)22-1102

○福井県嶺南消費生活センター ☎(0770)52-7830

○消費者ホットライン ☎188(イヤヤ) お近くの消費者相談窓口につながります。

老人クラブ会員向け 3つの保険で安心補償

◆ 1 傷害保険 24時間型

自分がケガをした時の保険です。(病気および他人に与えたケガは対象外です。)

対象: 老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。

補償範囲: 「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」

掛金: ① 24時間型 お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円

② 活動型 お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円

補償内容: 死亡・後遺障害保険金(後遺障害保険金はクラブ活動中のみ)／入院保険金／手術保険金／通院保険金

保険期間: 掛金払込み日の翌月1日から1年間

◆ 2 傷害保険 活動型

◆ 3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。(自分のケガは対象になりません。)

① 対象: 老人クラブ(全員加入が条件となります)
② 保険期間: 每年10月から1年間
③ 掛金: 1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
④ 補償: 支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号
(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768
(引受け幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。

「老人クラブ傷害保険」

■活動型: 老人クラブ団体傷害保険特約付傷害保険、

■24時間型: 総合生活保険(傷害補償)

「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」

ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」概要

「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店

までお問い合わせください。

18-T02023 平成30年6月作成 5